



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590 / CHARTERED MAY 29, 1976 / WEEKLY BULLETIN

2007-2008年度RI会長
ウィルフリッド J. ウィルキンソン



2007-2008年度
第2590地区ガバナー 亀ヶ谷 邦博

会長	吉田 隆男	会長エレクト	犬飼 和春
副会長	河野 明光	副会長	岩澤 利雄(PP)
幹事	加藤 仁昭	副幹事	古川陽太郎
会計	舘野 典久	副会計	朝日 達夫
S A A	山田 正憲	副S A A	布施 是清
クラブ会報	田口健太郎	副S A A	永井 隆俊(PP)

2007-2008年度
第35号週報 No.1547

2008年(平成20年)3月28日 第1547回例会記録 4月4日発行

クラブテーマ 「自然体で、ためになる、魅力あるロータリー」



事務局 ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸1-11-3 TEL:045(314)3900 FAX:045(314)3555

例会日 毎週金曜日0:30~1:30 PM **例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和51年5月29日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/> **E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

特別行事

3月21日ご逝去された故清水勇一会員に黙禱

司会

古川 陽太郎 副幹事

点鐘

吉田 隆男 会長

斉唱

手に手つないで

ゲスト紹介

朝比奈 峰男 様 (ゲストスピーカー)
国際親善奨学生候補 石田 美緒 様

ビジター紹介

横浜西 R.C	森部 等 君
横浜西 R.C	笹井 浩毅 君
横浜旭 R.C	松本 良彦 君
東京南 R.C	雪野 潔 君
横浜あざみ R.C	森 節子 君
横浜あざみ R.C	小嶋 紘子 君
横浜あざみ R.C	蝦名三保子 君

結婚記念日祝

長井 章 会員 (3月29日)
竹山 洋 会員 (3月29日)
岩澤 利雄 会員 (3月30日)

入会記念祝

田中 栄 会員 (3月12日)
山本 芳弘 会員 (4月2日)

誕生日祝

犬飼 和春 会員 (3月31日)
山田 富雄 会員 (4月1日)
舘野 典久 会員 (4月1日)



会長報告

田中栄会員にR財団からポールハリスフェローの認証状とメダルが送られてきましたので、贈呈致します。

本日《4月4日》のプログラム

- ◆ 斉唱 「君が代」「奉仕の理想」
- ◆ 献立 松花堂弁当
- ◆ 卓話 『「ロータリーの友」の表紙あれこれ』

「Rの友」表紙解説者 岡井 耀毅 様

同じく田中栄会員に米山奨学会から第1回米山功労者の感謝状がきましたので、贈呈致します。



幹事報告

地区からロータリー為替レート変更のお知らせがまいりました。4月より1ドル=98円となります。
3月29日、ワンワールド・ワンピープル協会の20周年記念イベントがJICA ちきゅう広場で行われますので、会長、幹事が出席致します。
次週4月4日例会後、クラブフォーラムを開催致しますので、ご出席をお願い致します。
神奈川 R.C と、横浜鶴見北 R.C から卓話のご案内がきておりますので、回覧致します。

回覧物 ・「友」インターネット速報 ・米山奨学会ニュース
・タウンニュース

例会変更のお知らせ

川崎中ロータリークラブ

平成20年4月1日(火) 夜間移動例会 点鐘 18:00
場所：うかい「とうふや」鷺沼店

横浜鶴見西ロータリークラブ

平成20年4月23日(水) 創立32周年記念例会
点鐘 18:30
4月30日(水) 夜間例会 点鐘 18:30
5月28日(水) 休会(定款第5条第1節)

横浜鶴峰ロータリークラブ

平成20年4月5日(土) 例会会場移動 イチゴ狩り
5月3日(土) 休会(祝日)

横浜田園ロータリークラブ

平成20年4月1日(火) 4月4日(金) 夜間移動例会
花見会
4月29日(火) 休会(祝日)
5月6日(火) 休会(祝日)
5月20日(火) 5月17日(土)
創立30周年記念式典
点鐘 18:00 青葉台フォーラム

横浜都筑ロータリークラブ

平成20年4月2日(水) 夜間移動例会 点鐘 18:30
場所：「太田なわのれん」
4月23日(水) 夜間移動例会 点鐘 18:30
場所：「きむかつ舎 三裕」
5月21日(水) 夜間移動例会 点鐘 18:30
4クラブ合同例会
(横浜港北、横浜北、横浜日吉)

委員会報告

国際奉仕委員会 委員長 山崎 善也

例会終了後3Fナイトにてマレーシア・ルーヤン R.C 「インターアクト受入れ対策チーム」の会合を開催しますので、ご参加をお願い致します。

親睦委員会 委員長 高田 修

本日18時より和善「結」にて「新会員歓迎会」を開催致します。
例会終了後、「春の家族会」の打ち合わせを行いますのでご参加下さい。

出席報告

田中 栄 委員長

会員総数	64名	(51+13)名	
出席会員数	50名	(40+10)名	
出席率	81.97%		
ゲスト	2名	ビジター	7名
前回補正後	86.67%	前々回補正後	96.61%

スマイルボックス

山田 正憲 SAA

森 節子君 理想のクラブとして新会員(小嶋会員)をメイクアップにお連れしました。いつもお世話になり感謝申し上げます。
小嶋紘子君・蝦名三保子君 メーキャップにまいりました。どうぞよろしくお願い致します。
山田富雄君 誕生祝いありがとうございます。
犬飼和春君 誕生祝いありがとうございます。
岩澤利雄君 結婚祝いいただきました。ありがとうございます。
長年月の間、雨風に耐えてよく頑張ったものです。
長井 章君 結婚記念日のお祝いありがとうございます。脇田さん、遠いところまでお届けいただきましてすみません。
竹山 洋君 結婚祝いありがとうございます。妻が結婚以来初めての花が届いたと、喜んでいました。
植田清司君 朝比奈峰男様、お忙しい中、本日はようこそおいでいただきました。卓話よろしくお願い致します。
石川正三君 今日の卓話は2回目の登場。アジア研交家の朝比奈峰男さんです。ご静聴の程を...
田邊正彦君・横山範夫君 松本良彦先生、ようこそ。
飯田泰之君 松本先生ようこそいらっしゃいました。
富居利貞君 あざみ R.C の森さん、蝦名さん、小嶋さんようこそ。
加藤仁昭君 清水会員のご冥福をお祈りします。当日受付手伝いにいただいた分をニコニコへ。

永井隆俊君 清水さんのご冥福をお祈り申し上げます。
 月山 勇君 清水パスト会長、ご他界の報に接し天を仰ぎながらご冥福をお祈り申し上げます。
 古川陽太郎君 先週は例会をお休まして申し訳ありませんでした。
 吉田会長、犬飼エレクト、山田正憲 SAA には大変ご迷惑をお掛けしました。
 山本 登君 駐車場のエレベーターが故障して電車できました。地下街でのお買物を楽しみました。
 田中 栄君 少しの間、お休みしていましたが、ちゃんとメーキャップはしています。お休みの方はメーキャップお願い致します。
 山田正憲君 清水会員のご冥福をお祈り致します。

3月28日	19件	59,000円
本年度累計額		1,845,985円

卓 話
「急成長のインドに注目しよう」

アジア問題研究家 朝比奈 峰男 様
 (石川 正三 会員)



日本は、近年政治、経済、軍事の各分野で地盤沈下が著しい。日本は歴史的に見て、日英同盟、日米安保条約が機能している時代には当時の超大国一国だけをみていれば、経済的にも軍事的にも安泰でした。しかし、新興国が急速に台頭してきて各分野で力を付けてきたので、超大国と言えども管理できない群雄割拠の戦国時代に入ってきたと思います。

日本は、食糧もエネルギーも不足する国であり、その輸入代金を稼ぐために加工貿易で生計を立てるとともに国防は米国に依存してきました。この日本が将来生存していくためには経済が急成長している国、資源国、日本を好きな国、軍事大国等と苦手な複眼的な駆引きをしながら自己責任で生存しなければならない時代に入りました。会うたびに反省、謝罪しても許さない国には他国のカードを使って変化させる以外にはないでしょう。

このようなバランス感覚から言えば、インド、東南アジア、ロシア等の比重を高めてゆくの良策であると思います。

今回は四大文明発祥の地であるインドに注目しましょう。インドは17世紀から英国の管理を受けましたが、1947年に念願の独立を達成しました。その際に「日本は戦争には敗れたが、日本の戦争目的はインド等で達成された」と日本を高く評価しています。国会のメモリアル・ホールには日本と共に戦ったボース氏が中央に、左右にネール氏とガンジー氏が飾られています。

独立後長らく社会主義型経済を実行していましたが、1991年に破綻して、経済自由化に乗り出しました。現在は丁度日本が東京オリンピックを開催した時点の状況で、今日よりは明日は良くなると思われ、国民も明るい展望を持っています。経済成長率は9%前後で2年後以降は中国の成長率を上回ると見積られています。IT、医薬、インフラ、製鉄、自動車、二輪車等世界的にも刮目すべき成長期に入っており、ムンバイの株式指標も5年で7倍に、外貨準備も世界第4位に増大しています。最大の問題点であるインフラ整備も現五か年計画は前期の約3倍の予算になっており数年後には道路、電力、港湾、空港等も見違えるようになり、日本企業の進出も活発になるものと期待されます。

日印関係については、大戦中日本軍と共に戦ったインド国民軍最高指揮官ボース氏、戦後では極東国際軍事裁判のパール判事による被告全員の無罪判決、我々日本人に大きな感銘と自信を持たせてもらったことは今でも鮮明に記憶に残っています。

日印関係も経済自由化後貿易も拡大し、2003年からは急拡大に転じ4年で2倍以上の1兆円規模になりましたが、まだ日中貿易の20分の1でしかありません。インドでは好きな国の第1位は常に日本であることに想いを馳せるとき、今後関係を強化して両国民共に幸せな状況を出現させていかなければならないと切に願っています。

インドの歴史
 四大文明発祥の地。インド洋交易圏の集散地。
 大航海時代 (1498年ヴァスコ・ダ・ガマ インド西岸に到着)
 ムガル帝国 (1526年~1858年) 5代王タジマハール建設。
 イギリスの進出 東インド会社 インド帝国。
 第1次世界大戦 100万人の兵士。10万人の犠牲。
 第2次世界大戦 独立の契機。
 独立 (1947年8月15日) 社会主義型経済。
 経済自由化 1991年以降。

インドの現状と発展
 人口10.5億人 (2位)。領土7位 (日本の約9倍)。
 名目GDP 9,106億ドル (10位)。株価5年で7倍。成長率約9%、外貨準備高4位。
 産業構成: 1次20%、2次26%、3次55%
 インフラ投資: 第11次5か年計画。5,800億ドル (前期の約3倍)
 粗鋼生産: 年4,400万トン 自動車、約200万台
 IT産業: 年500億ドル、130万人雇用、GDPの5%
 海外投資活発 (流入額の過半)

鉱物資源開発も外貨に開放。

中産階級1.5億人、毎年2,500万人増、個人消費額5,000億ドル
(日本の1/5)。

高等教育充実：卒年200万人 (IT 専攻 15万人)

印僑

長者 番付 世界一：ミタル会長 約3兆円

南部ルイジアナ州知事：ボビー・ジンダル氏

サンマイクロ・システム社長：マッキンゼー氏

米人口の0.8%約250万人、平均世帯年収7.4万ドル (全米平均の1.6倍)

VC 投資先上場会社の1/4、米国人経営以外144社、インド人の経営は32社でトップ。

本国送金、大きな政治力、貯蓄率32%。

日印関係

スバス・チャンドラ・ボーズ氏：インド国民軍最高指揮官
ラダ・ピノード・パール判事：極東国際軍事裁判で全員

無罪判決

内閣総理大臣 東條英機閣下に感謝状 (2006年)

日印貿易：85億ドル (日中2,113億ドル) 日本10位

日系企業：約330社 (中国20,000社以上)

留 学 生：327人 (0.3%) (中国：78,000人)

(留米：80,000人 1位14%)

在留邦人：2,000人 (中国：10万人)

航 空 便：6便/週 (中国：550便)

投 資：日本9位

好きな国の1位：日本

ロータリーミニ情報

決議案 07-175

地区が1つのゾーンのみにも属するよう、ゾーンの再編成を検討することをRI理事会に要請する件

世界の多くの地域で、2つのゾーンに属する地区が見られる。

2つのゾーンに報告を行うのは、より多くの作業を必要とする。

ゾーン会合に出席するには費用がかかり、多大な時間を要する。

よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、地区が1つのゾーンのみにも属するよう再編成を検討することとする。

決議案 07-177

第5ゾーンを3つのセクションに再編成することを検討するよう、RI理事会に要請する件

国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、RI細則第12.010.6項に基づき、RI理事の選挙を目的として、第5ゾーンを現在の2つのセクションから3つのセクションに再編成すること

を検討し、インドの東部および東北部地域の第3120地区、第3240地区、第3250地区、第3260地区、第3290地区を3セクションのうちの1つとすることとする。

決議案 07-180

ロータリー・クラブへの連絡を行うにあたり、より効率的で費用のかからない方法を見つけることを検討するよう、RI理事会に要請する件

ロータリー・クラブとクラブ会員は、理事会による決定事項について情報を迅速かつ正確に得る権利を有するべきである。

ロータリー・クラブとクラブ会員は、常任委員会によって現在検討されている事項や、これらの委員会が出したいいかなる結論についても、情報を迅速かつ正確に得る権利を有するべきである。

ロータリアンは、RIの管理運営のために毎年寄付する米貨48ドルがどのように使用されているかについて、情報を迅速かつ正確に得る権利を有するべきである。従って、国際ロータリーの理事会および経営陣が会員にこのような情報を提供することに対して、常に大きなニーズが存在する。

現在、理事会の決定、理事会の委員会会合、RIの管理運営に関する情報は、現在、十分に伝えられているとは言えない。

継続的に会員に情報を提供し、すべてのロータリアンが意見を述べたり、当組織の発展に関する内部の討論やアイデア交換に参加したりする機会を創設することは、国際ロータリーの発展にとって極めて重要である。

国際大会も、ひいては地域やゾーン会合も、このニーズを満たしていない。

国際ロータリーのような世界的組織では、このニーズは多数の言語を用いて満たされるものであり、1つの公式雑誌および複数の承認された地域雑誌に頼ることになる。

このような地域雑誌の内容の質には、かなりの格差がある。

公式雑誌および承認された地域雑誌は、両者とも、多くのロータリアンには関心の薄い不必要な記事で埋められている。

現在、電子やその他のより効率的かつ経済的な情報伝達方法が存在する。

その一方で、印刷された雑誌には電子メディアでは置き換えられない利点があるため、

関心のある読者のために雑誌を今後も出版すべきではある。しかし、雑誌の購読をすべてのロータリアンに義務づけることは疑問の余地がある。

よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、情報、内部での討論、アイデア交換に対するニーズの総合的調査を始め、そのニーズを満たすために適切な手段と方法を見つけるよう検討することとする。また、この結果、理事会が次回の規定審議会へ推奨案を提出することも考えられる。

次回《4月11日》の卓話予定

「イニシエーション・スピーチ」

友添 辰哉 会員